

L形ダクトカバー

住宅における厨房排気ダクト用断熱カバーです。
省スペース・省施工に貢献します。(消防評定取得済)



レンジフードに付属される、L形ダクトのサイズに合わせた断熱材です。形状の多様性に優れ、様々な製品に適した形状で加工できます。

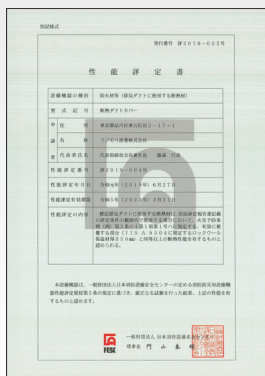
特徴

1 省スペースに貢献

使用している断熱材は、23mmの厚さでロックウール50mmと同等の防火・断熱性能を發揮します。これにより、狭小スペースでの施工に効果を發揮します。

2 消防評定品

(一財)日本消防設備安全センターの「消防防災用設備等の性能評定認定品」です。
性能評定番号:評2019-004

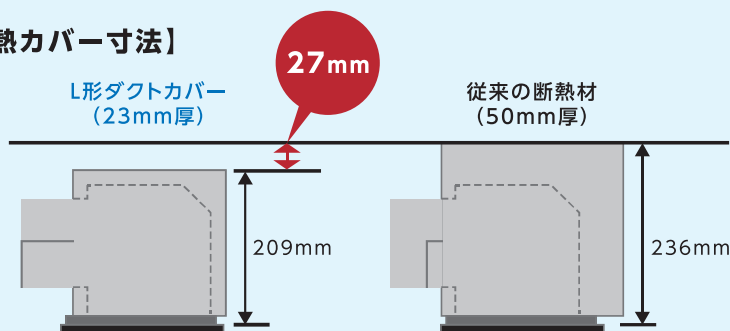


3 ジャストサイズでの提供

板状の断熱材をL形ダクトのサイズに合わせて加工するので製品にあったものを提供できます。その他の形状についても承ります。

従来施工との比較

【断熱カバー寸法】



断熱材がL形ダクト用に加工されているため、現場でのカットが不要で、被せるだけで施工ができます。従来の断熱材を切り貼りして施工する場合と比べ、施工時間を短縮できます。

総務省消防庁

「火災予防条例(例)」の抜粋

排気ダクト等は、建築物等の可燃性の部分及び可燃性の物品との間に10cm以上の距離を保つこと。ただし、金属以外の不燃材料で有効に被覆する部分についてはこの限りではない。

と記されています。

レンジフード上部の狭小部では、配線や機械付属品などがあり距離が取れないケースがあります。

レンジフード設置に関する主な条例

昭和37年東京都条例第65
(東京都火災予防条例)第3条

予防事務審査・
監査基準

平成14年総務省令
第24号第5

※注)本条例については、施工される地域により異なる規制を受けることがありますので、事前に所轄の官公庁にご相談ください。

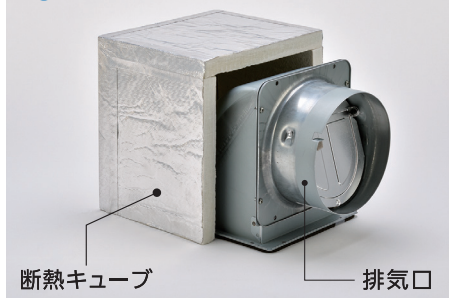
排気ダクトに関する規定

排気ダクトと可燃物との距離は10cm以上離すこと。但し、次の条件において10cm未満とすることができます。

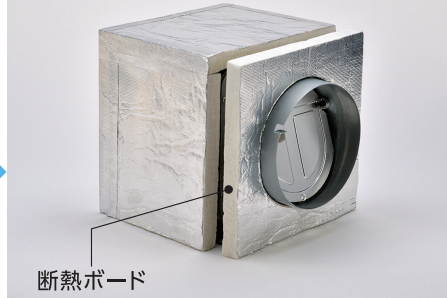
- 50mm以上の特定不燃材料で排気ダクトを被覆する。
- 可燃物の部分を5mm以上の特定不燃材料で被覆し、50mm以上離すこと。

標準施工要領

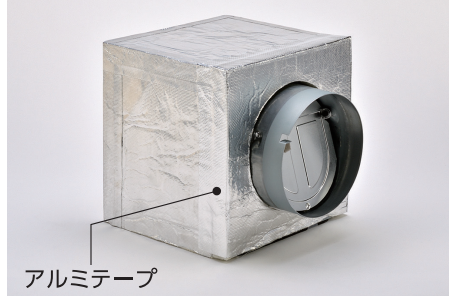
① 断熱キューブ取付



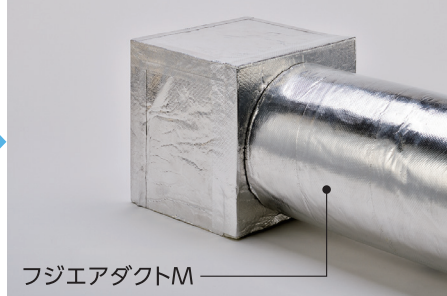
② 断熱ボード取付



③ アルミテープでふさぐ



④ 完成



※接続時はフジエアダクトMの施工要領を参照

取扱い時の注意

- ◎ 製品が水に濡れない様に保管、施工してください。製品破損及び劣化、周辺機器の故障の原因となる恐れがあります。
- ◎ 保管の際、製品を踏みつけたり、乗ったり、投げたりしないでください。また過度な荷重をかけないようにしてください。破損・変形の恐れがあります。
- ◎ 外面・内面に剥離、裂け、穴等がある場合は施工前にお申し付けください。
- ◎ 必要な保護具を着用の上作業を行ってください。怪我をする恐れがあります。
- ◎ 取り付け時は、転倒、墜落、製品落下等がないように充分安全に気をつけて行ってください。
- ◎ その他、本カタログに記載のない法令などについては、建築基準法、その他法令、条例等に従って設計・施工してください。

※カタログの表示は、予告なく変更する場合があります。

